

介護サービス利用奨励給付金をお渡しします

市では、居宅介護サービスなどを有効に活用していただくため、次のとおり奨励給付金を支給します。

支給対象者
平成23年11月1日現在で、次の①～④すべての要件に該当する方

- ①過去1年間、中野市に6か月以上住民登録してあり、かつ、「要介護1」から「要介護5」までの認定を6か月以上受け、自宅で生活を営む方（老人保健施設や医療機関に入所・入院している方は、3か月以内在宅で生活する見込みがある場合に限りまず）
- ②世帯全員が市民税非課税世帯に属する方
- ③中野市重度心身障害児(者)介護慰労金事業での障害者などに該当しない方
- ④今年4月から9月までの間に、居宅介護サービスなどを利用している方

※ほかの軽減制度の適用を受けている方は、軽減額を控除した額が支給されます。要件に該当すると思われる方については、11月中に通知しますので、申請書を提出してください。

ご不明な点や詳細については、お問い合わせください。

支給額 上段表のとおりです。

要介護	給付額
1	70,000
2	80,000
3	120,000
4	120,000
5	120,000

特定疾病患者等激励金支給の申請はお済みですか？

市内に住所を有し、11月1日現在で特定疾患医療、小児慢性特定疾患医療および人工透析を受けている方に、中野市特定疾病患者等激励金を支給します。

支給額（年額）は非課税世帯で1万円、課税世帯で5千円です。

問い合わせ先
市役所福祉課障害福祉係
☎(22)2111(内線294)

もみじ祭り開催

秋の風を感じてみませんか。大勢の皆さんのお越しをお待ちしております。

市内の施設や特産物をより広く皆さんに知っていただくため、「もみじ祭り」を開催します。



昨年の様子

期日 11月13日(日)
時間 午前10時～午後2時30分
会場 道の駅「ふるさと豊田」
内容 特産のキノコと豊田農産物加工施設のみそを使ったきのこ汁の提供、おやき・アップルパイ・地元農産物の販売、毎回大好評の餅つき体験や豊田もみじ太鼓の演奏などの各種イベントを開催します。

中野市公共施設白書を作成しました

詳しくは、市役所政策情報課までお問い合わせください。

問い合わせ先
市役所政策情報課行政管理係
☎(22)2111(内線401)

市では、市民の皆さんに市の公共施設の現状をご理解いただき、これからの公共施設のあり方を考えていく資料として、中野市公共施設白書を作成し、市公式ホームページで公表しています。

教育委員会だより

No.55 編集／中野市教育委員会

平成23年度

姉妹都市交流「学校新聞特派員事業」報告

調査地 姉妹都市「茨城県北茨城市」
市の鳥(かもめ)・市の木(松)・市の花(シヤクナゲ)・市の魚(アンコウ)
調査日 平成23年8月6日(出)・7日(归)
調査員 中野市立高社中学校 上原直斗、宮本雄太、曾我部みらい



▲野口雨情生家の前で

り、後に全国各地で開かれた野口雨情さんの講演には、必ず中山晋平さんも同行するという深く、親しい仲になったそうです。

私は、野口雨情さんについて取材してきて、とても心に響いたことがあります。それは、野口雨情さんの孫に当たる人が、「この震災で、日本を見直すきっかけになったように、野口雨情さん、中山晋平さんが残してきた曲にも目を向けて、見返す時がきた。その詞や曲に込められた心を潤す力に目を向けたい。」という言葉です。

大切な文化財として、野口雨情さんの原稿や遺品が残っていてよかったです。



▲津波によって流された漁船

東日本大震災後の

北茨城市の被害状況

曾我部 みらい

震源地から離れている、北茨城市でも震災の被害は思っていたよりも大きかったことに私は驚きました。

2日目は震災のあった現場などを視察させていただきました。ニュースでは、あまり知られていませんが、地震と津波の被害が大きく、あの日

野口雨情さんと中山晋平さんの関わり

上原 直斗

中野市の作曲家中山晋平さんと、北茨城市の作詞家野口雨情さんの出会いは、1919(大正8)年、船頭小唄を作詞し、中山晋平さんに作曲を依頼しました。このころの出会いが始まりとな

北茨城市立 関本中学校との交流

宮本 雄太

関本中学校との交流では、関本中学校の生徒会活動や部活動について知ることができました。

交流後、関本中学校の皆さんとバスで移動し、地域の工芸である、ガラス細工体験をしました。グラスを作る部屋はとても暑く、その場にいるだけで汗が出てきました。でも、その中で職人さんたちは毎日作業しているわけです。とてもすごいと思います。



▲関本中学校生徒会役員と一緒に